

文章生成AI利活用ガイドライン（概要）

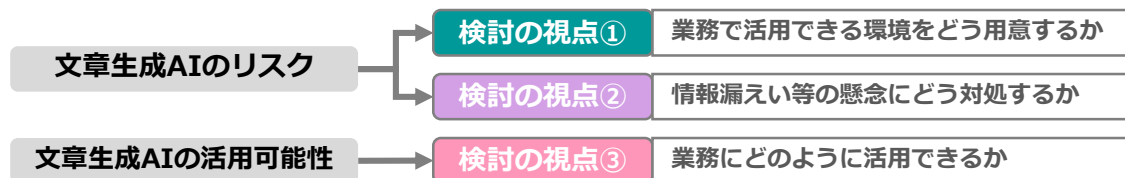
文章生成AIについて

- 文章生成AIは、都職員の業務のあり方を大きく変革する可能性を秘めている一方、様々なリスクも指摘されています。
- このため業務活用にあたっては、その特性をよく理解し、正しく利用することが重要です。

内容

1章 文章生成AIについて

- 情報漏えいや回答の不正確性、著作権侵害など、様々な問題が指摘されており、行政分野での活用にあたっては、こうしたリスクへの対応が必要
- 都の取組の方向性として以下の3つの視点から検討



2章 利用環境

- Microsoftの「Azure OpenAI Service※」を利用し、職員が業務で活用するためのより安全な利用環境を共通基盤として整備
- ※ ChatGPTをMicrosoft Azureの環境で使用できるサービス

3章 利用上のルール

- 利用にあたっての約束事
 - 安全性が確保された共通基盤で文章生成AIを利用すること
 - ✓ 利用開始前に必ず利用申請フォームで申請を行うこと
 - ✓ e-ラーニングを受講し、正しい利用方法を確認すること

都におけるこれまでの取組

検討プロジェクトチーム（PT）を設置

- 文章生成AIの利活用について議論を重ね、これまでのPTにおける検討の成果をガイドライン（Version 1.0）としてとりまとめました。

職員が守るべきルール

- ルール1** 個人情報等、機密性の高い情報は入力しないこと
- ルール2** 著作権保護の観点から十分注意し、確認
- ルール3** 回答の根拠や裏付けを必ず自ら確認
- ルール4** 回答を対外的にそのまま使用する場合は、その旨明記

4章 効果的な活用方法

Step 1 | 必要な情報を引き出し整理する

- ① 立場をはっきり（行政分野や立場、文章生成AIに与える役割等）
- ② 目的・背景を具体的に指定（前提条件、課題を整理）
- ③ 出力形式を指定（文字数、英語、箇条書き等）

Step 2 | 視点を加えて高度な回答を導く

- ④ プロンプトを重ねて回答をブラッシュアップ
追加質問や、Step 1 でうまく回答を得られなかった①～③の条件を追加

5章 今後の展望

- 継続的に職員の利用満足度や業務における効果等について検証し、利用環境の改善やさらなる活用につなげていく
- 好事例の横展開や情報収集・発信により、各局における積極的な活用を支援していく